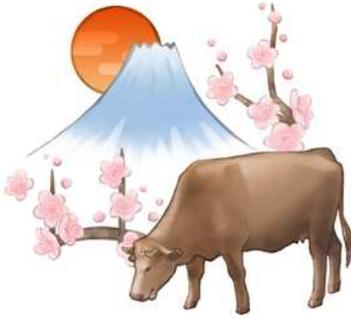


# JSCA九州 1-版

発行・日本建築構造技術者協会九州支部  
 TEL 092-406-7204 / FAX 092-406-7214  
 Web Site : <http://jscakyushu.jp/>  
 E-mail : [info@jscakyushu.jp](mailto:info@jscakyushu.jp)

## 2021 年巻頭言



2021 年 1 月 JSCA 九州支部長 今林 光秀

JSCA 九州支部会員ならびに賛助会の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

暖かく穏やかだった去年の正月とは変わりとても寒い静かな 2021 年の幕開けとなりました。まさかあのような 2020 年になるとは 1 年前に想像することすらできませんでした。JSCA 九州支部の活動にも大きな影響を受けた難しい 1 年間でした。今年は少しでも良い 1 年となるよう祈る気持ちで皆様も新年を迎えられたのではないのでしょうか。おそらく今年も、完全に元通りの日常に戻るのではなく、少しずつ皆さんと一緒に努力を続けていくことになるのだと思います。普通でない時にこそ普通でないことにチャレンジできると考えれば、少しは前向きな気持ちになれるような気がしています。健康第一で頑張りたいと思います。

話を変えて、元日の夜はウィーンフィル・ニューイヤーコンサートをテレビで見るのが楽しみですが、今年はどうなることかと心配していたら無観客ですが無事に行われ、今年の指揮者リッカルド・ムーティとウィーンフィルによる演奏が美しい学友協会大ホールに流れました。ここは素晴らしい音響で、音に包まれるような幸福感を感じる極上空間です。



公演後半の新年挨拶で指揮者ムーティによる言葉「芸術・文化にこそ世の中を良くする力がある」が心に響きました。無観客でもいつもと変わらずに最高の演奏を魅せる本物の芸術家でした。我々がたずさわっている建築も、芸術・文化としては同じことが言えるのかも知れません。建築にかかわる構造技術者として、世の中を良くするとは何なのかしっかり考えたいです。

今年の JSCA 九州支部の活動は、昨年状況下でも各支部や各地区会皆様の協力で実施された Web による構造展や講習会・見学会など中心に、状況に応じてリアルな活動も行いたいと考えます。5 月 21 日支部総会は開催方法（九州構造デザイン発表会・記念講演会・懇親会）を会場調整含めて三役・事務局で準備中です。9 月 22 日は昨年順延となった JSCA 構造デザイン発表会が沖縄で行われます。JSCA 本部とも連携しながら九州支部 WG にて 2 年超しで準備が進められており、開催されるよう全国の会員皆様が願っているところです。他団体との活動も引き続き進めて参ります。九州設計 4 団体による災害時対応 WG や福岡建築 8 団体による BIM 推進協議会もスタートしており JSCA 九州も積極的に連携します。

このような時だからこそ、自分ひとりではなく人々と協力することが求められており、そのような場として JSCA 九州支部の在り方が大切になっていると感じています。

支部長 2 期目として皆様のお役に立てるよう努力していく所存ですので、どうぞよろしく願い申し上げます。

## 新年を迎えて



副支部長 重松 正幸

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。九州支部会員・賛助会員の皆様は、この正月をいかがお過ごしでしょうか。私は地元の長崎には帰省せず、例年とは違い静かな新年を迎えました。暦の並びのせいか、ゆったりとした正月という特別な日々でなく、やや仕事のない日常を過ごしたように思います。

昨年のは年頭には「2020」に期待を寄せる挨拶を書きましたが、想像とは随分異なる一年になってしまいました。多くの皆さんの念頭にある事柄は、この状況下に対する不安であると想像します。「2020」には多くのものごとが失われ、制約を受けた生活を強いられました。しかし、その困難は新しいことへの挑戦や機会を得ることにもなったのではないのでしょうか。「2021」は、そこで得たことを発展させ実行・実践していく年にしたいものです。



新年には門松を多く目にしましたが、竹は節を作って真っ直ぐしなやかに伸びて行きます。節の役割は、構造技術者のみなさんには釈迦に説法か孔子に論語か。言わずもがな、節目あってこそその成長であり不可欠なもの。毎年おとずれる年末年始の節目は、それを機に新たな気持ちになれる便利なものであり欠かせないと感じます。「2021」も例外でなく、新たな気持ちになった人々が前を向いて進み、その先に「2019」より良い日常を得るのだと信じています。

まだまだ続く非日常の中、今年の JSCA 九州の活動はどこまでできるのか。新たな挑戦には、会員の皆様の協力が欠かせません。支部会員・賛助会員の皆様に、少しでも多くの機会を作れるよう支部役員一丸となって取り組む所存です。

最後に、皆様の健康とより一層のご活躍をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。



副支部長 松下 淳一

皆様、新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍により先行きが不明な状況が続く中、JSCA 九州の活動が通常とは程遠い状況となり、会員の皆様にはご不便をおかけしていることと思います。あらためてお詫び申し上げます。

私たち構造技術者は、周囲の環境より生じる外乱やいつ起こるかわからない自然災害などを想定しながら、設計等の行為を行っています。見えないものを想像しながら対応することに慣れているつもりでしたが、このような状況に戸惑った 2020 年でした。

昨年は世界中で様々な行事が中止延期され、JSCA においても沖縄の構造デザイン発表会やその他計画も延期されています。今年もしばらく同じ状況が続くことが予想され課題も増えるものと考えます。この状況を打破し安心して活性化した社会活動ができるよう、皆様からは是非いろいろなご意見をいただき、取り組むべきことや対処すべきことを考え、皆様と連携してやれることがあれば取り組みたい。そして、少しでも安心して前進でき、自己研鑽できるような場でありたいと思っています。コロナ禍が終息に向かうことを願うとともに、皆様のご活躍ご健勝をお祈りいたします。どうぞよろしく願いいたします。

## 技術委員会



技術委員長  
(有)福岡構造 吉村 泰広

新年あけましておめでとうございます。

昨年は2月24日にJSCA本部・九州支部合同技術委員会（九州場所）を企画し、本部12名、関西支部1名、九州支部13名の合計27名を迎え、見学会、技術委員会、懇親会を開催できました。これを機に本部と九州支部の技術交流の起点にできればと思っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している状況です。その後もJSCA本部技術委員会へWEB参加していますので交流の懸け橋になればと思っています。

応答制御委員会が開催した「最新免震・制振技術を用いた超高層建物の設計・WEB講習会・見学会」では、構造士シール・CPD・参加費の徴収を行った上でWEBを利用した距離・地域を超えた活動の可能性を示せたと思っています。本部を始め他支部からも運営についての問い合わせが寄せられており、今後のより活発な活動が進むものと期待しています。

また、建築倶楽部が設立したBIM推進評議会への参加に伴い、技術委員会にBIM委員会を設け、構造BIMとして情報発信ができればと思っています。

これからも、JSCA本部技術委員会・九州支部技術委員会各部会をはじめ、九州免震普及協会、福岡建築構造事務所協会、そして、2019年にご縁がありました韓国免震制振協会とも連携し、WEB講演会など、多くの活動の場を持つことができればと思っています。

本年もよろしくお祈りします。

## 設計基準系部会



設計基準系部会長  
(株)織本構造設計 都筑 清

新年あけましておめでとうございます、と素直に言いにくい年明けになりました。

コロナ禍で構造デザイン発表会 in 沖縄の延期や、以前は当たり前だった参加型の活動が見合わされ、人と会ってなにかをすることが制限される社会となっています。世間では働き方の改革を余儀なくされ、良い一面もあったのですが、会員の皆様も体制を整えることにご苦労されたかと思います。私もネット関連に疎く、JSCAでの活動が積極的にできなかったことをお詫び致します。

この変化で良かった点を挙げるなら、今まで地方での開催が無かった講習会や遠方で開催される見学会など現地に行かずともオンラインで気軽に参加できる環境が整ってきたことでしょうか。個人的には参加型のイベントの方が配信できない裏話や参加者の近況などが聞けて好きなのですが、設計部会も今後は新しい活動のカタチに対応していく所存です。

在宅勤務を始めてから、カラダを動かさず習慣が幾らか身につけてきました。年齢を重ねると、変化に対応する・新しいことを始めるといったことに消極的になりますが、この危機を逆に生かし、プラスに転じるよう邁進したいと思います。

皆様にも良い変化が起きることを願って、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

## 応答制御設計部会



応答制御設計部会長  
エス・エー・アイ構造設計(株) 上野 敏範

皆様、新年あけましておめでとうございます。

2017年より活動を始めました応答制御設計部会では、引続き、免震構造や制振構造を、特殊なものとするのではなく、一般化することを目標に活動しております。

昨年は、

- 福岡市内で建設中の超高層免震建物を題材としたWEB講習会・見学会を実施しました。(協力(株)竹中工務店九州支店)

WEBを活用した初めてのイベント開催でしたが、全国より84名の方に御参加いただきました。開催準備・集金システム・CPDや構造士シール対応・領収書対応・接続テスト・配信など、部会メンバーと協力して取り組みました。その結果、WEBによるメリットも多く見いだせ、今後の活動に活かしていける良い経験となりました。

- 応答制御設計に関する知識・実務能力の向上につなげるための見学会(現場見学、工場見学)・座学(基本編・中級編・上級編)・実技演習(地震応答解析の実施と評価など)について、部会メンバーと定期的にWEBで協議を重ね、実行計画をまとめています。本年以降の具体的な活動につなげていきます。

今年も、WEBを活用したイベントを開催し、賛助会員の皆様とJSCA会員の皆様との交流の場の提供にもつなげたいと考えています。また、他の部会との共同のWEBイベント開催にも積極的に取り組んでまいります。

皆様のご理解とご協力、どうぞ宜しくお願い致します。

※部会活動のさらなる活性化と継承のために、昨年より、高山一斗氏(竹中工務店)をメンバー員に迎えました。

## 基礎地盤系部会



基礎地盤系部会長  
イン・オリジン一級建築士事務所 小林 弘典

「抛り所」

設計において発想の起源となるものは、街、自然、人との会話等で、その中から自分の感性で拾い上げたものを自らの価値観で再構築する。その検証の過程で明確な回答が無い(あるいは複数の回答がある)ことはよくあることで、その時の判断の「抛り所」となるのは、最終的には自分の経験値だと思う。しかし、この経験値というのが怪しい...。その時の状況や気分によって左右され、永久不変なものとは限らない。時流や社会情勢にチューニングするためにも、たまには確認し微調整する様にしている。コロナ禍でリモート作業も多々あるが、この経験値の確認とチューニング作業にリモートは合わない。ネット環境は仕事に不可欠で、その多大な恩恵を日々感じているが、パソコンの前に座って見えるものにはリアリティーが感じられず、「抛り所」にはなりそうには無い。社会に五感で触れることができないことにもどかしさを感じる、そんな状況はしばらく続くと思いますが、耐えて、もがいてみようと思います。本年もよろしくお願いたします。

## 鉄筋コンクリート系部会



鉄筋コンクリート系部会長  
 (株)大林組 木村 正人

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、「東京オリンピック」や「JSCA 構造デザイン」で、賑やかな年となる予定でしたが、新型コロナウイルスにより想定外の事態となり、何ともやりきれない思いの1年でした。また、日常業務においてもテレワーク、オンライン会議等、これまでの業務スタイルから一変する手法に取り組むことになりました。新型コロナウイルス感染防止対応は今後も継続し、抑制後もこのスタイルが社会活動に取り入れられることを考えると、昨年は「大変革の年」だったと思います。

昨年の活動は、12月3日に西日本圧接業協同組合との共催で「鉄筋継手の超音波探傷試験法の勉強会」を開催し、新型コロナウイルス感染拡大直前の時期にも関わらず多数の方にご参加いただきました。今年は、昨年2月に開催を予定していました「配筋基準の読解勉強会」をオンラインで実施することも念頭に再度企画したいと考えています。

コロナ渦中ではありますが、今年も品質確保や労務不足対策に着眼し、研鑽の場を提供していきたいと考えています。ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

## 鉄骨系部会



鉄骨系部会長  
 鹿島建設(株) 井手 文雄

あけましておめでとうございます。

昨年の春より鉄骨系部会長を務めさせて頂くことになりました。宜しくお願い申し上げます。近年は大地震・集中豪雨・巨大台風など大規模な自然災害が続いていますが、昨年は新型コロナウイルスという新たな脅威が襲い掛かった一年でした。年を越しても感染拡大は止まるところを知らず、収束はいつ頃になるのか待ち遠しいところです。

2020年の今年の漢字は「密」でした。コロナ禍で生活・行動様式が「密」にならないよう少し距離をとってという警告の意味合いでしたが、鉄骨系部会でも「密」を避けるために講習会等の実施を見送って結局一度も開催できませんでした。

今年は丑年です。子年に蒔いた種が目を出して成長する時期とされ、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期だそうです。昨年実施できなかった講習会（鉄骨最新技術紹介、溶接技術関連）も含めて、Web開催など新しい実施方法も考えつつ、「密」接に、且つ濃「密」にコツコツと活動していきたいと思えます。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

## 木質系部会



木質系部会長  
(株)川崎構造設計 宮崎 大介

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年2月には本部との合同技術委員会に参加させて頂き、善龍寺本堂の見学会を実施致しました。皆様と様々な意見交換ができて、非常に有意義な経験をさせて頂いたと思っております。その後は新型コロナウイルスの猛威により、思うように講習会や見学会の企画ができませんでした。今年は新しい生活様式のもと、新しい講習会・見学会様式を見出せていけたらと思っております。

全国的に木造建築物の非住宅化や中・大規模化が進んでいることかと思えます。それらの木造建築物関連の書籍等も近々出版されると思えますので、設計上の留意事項等の情報を皆様に発信していけたらと思っております。

本年もよろしくお願い致します。

## 特殊構法部会



特殊構法部会長  
(株)ピーエス三菱 石井 孝幸

新年あけましておめでとうございます。

皆さにおかれましては、健やかに新春をお迎えの事と思います。

昨年は、コロナ、コロナで公私ともに思うように行動できず、気が付くと一年が終わっていたなと感じています。特殊構法部会も行動自粛で皆様に情報発信できず残念な年でした。

今年は38番目の干支で「辛丑(かのと・うし)」の年です。辛丑は新しくなろうとし、芽吹き始める状態で転換期にあたる年になるのでは言われるようです。

特殊構法部会も、この転換期にあたり、新しいことにチャレンジする「リアルとリモートの良さを生かした活動を行う」「他の部会に属さない特殊な構法、構造をテーマに広げる」を頑張ります。皆さまの要望や意見などをお聞かせください。

本年も引き続き特殊構法部会運営に関しましてご支援をよろしくお願い致します。

## 耐震改修部会



耐震改修部会長  
能勢建築構造研究所(株) 奥野 賢二

あけましておめでとうございます。  
 去年は年明けからコロナに振り回された一年であったように思われます。  
 耐震改修部会でも予定していた講習会や委員会も開催の時期を伺っておりましたがコロナ感染の終息がならずそのまま年明けとなった次第です。  
 今年こそは、新規一転して部会としての活動をおこないたいと思っておりますので皆さまのご協力を宜しくお願い致します。

## シニアアドバイザー部会



シニアアドバイザー部会長  
(一財)福岡県建築住宅センター 大塚 真裕

新年明けましておめでとうございます。  
 去年は新型コロナウイルスに明け暮れた1年でした。人との接触が感染を広げると言われているため、何かと自粛を求められる状況でもあり、部会活動が低迷してしまいました。各国でワクチンが開発され、欧米ではワクチン接種も既に始まっています。日本での接種は少し先になり、また、我々が接種できるのはさらに先になると思われれます。シニアアドバイザー部会のメンバーは、年齢的に少し早く接種できるかも知れませんが(笑)、それまでは、厳重注意な活動が続きそうです。  
 このような状況のなか、今年は、部会員拡大、他の部会との連携や Zoom を使ったの新しい活動の形を模索していきたいと思えます。  
 会員が長く JSCA 活動に係わっていただける活動の拠点として、会員相互の親睦をはかりつつ、皆さま方の豊富な経験を次世代に伝承するための活動を行って行きたいと思えます。JSCA 九州のネットワークをさらに強いものとするためにも、多くの皆さま方の参画をお願い致します。

## 会員委員会



会員委員長  
Y's 構造設計 横山 英一

新年明けましておめでとうございます。

皆様のお力添えにより昨年 1 年の活動を終えることができましたことを皆様方へお礼を申し上げます。

昨年は、大変厳しい 1 年となり、3 年連続にて開催しておりました賛助会員様との懇親会も開催できませんでした。賛助会員は現在 86 社となり、これも会員及び賛助会員の皆様のご協力あつてのことと心より感謝申し上げます。

本年は、賛助会員の増強に努めるとともに、会員・賛助会員の皆様の交流促進を図る取り組みを進めていければと考えております。

皆様にとりまして実りある 1 年となりますようお祈り申し上げます。

本年も、何卒宜しくお願いいたします。

## 青年部会



青年部会長  
(有)福岡構造 安達 亮平

新年のご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。

2020 年は本当に様々なものが変化した 1 年になりました。みなで集まっての活動が制約されるなど、窮屈な思いをした一方で、新しいツール・技術に触れる機会も多かった一年であったと感じています。

昨年の青年部会ですが、辛うじて 12 月に第 1 回目の部会として活動計画会議を開催するに止まりました。ただしこの部会では、これまでと同様の会場に集まる形態に加え、Web 会議ツール (Teams) を利用してオンラインでも参加できるようにしました。また、部会の開催前に Web による活動計画に関するアンケートを実施し、これに基づいて会議を行いました。これにより、当日参加できない方の意見も知ることができずし、遠方の方でも参加することが可能になりました。

2021 年、これからの世の中がどのようなようになるのか、予測することが困難な状況ではありますが、新しいツール等を利用して、九州全体で青年部会の活動ができればと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## なでしこ会



なでしこ部会長  
(有)中野構造設計 松田 千恵

あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍で皆様大変な思いをされたことと思います。なでしこ会も2月の活動発表会以降、例年のような定期的な活動が出来ず1年を終えました。

そんな中、重松副支部長、安達青年部会長とともに企画・運営を行った「オンライン構造」が10月に開催されました。新しい活動で手探りの部分が多かったのですが、発表頂いた賛助会員の企業はじめ、ご協力いただいた関係各位には大変お世話になりました。どうもありがとうございます。

今年は、それぞれが昨年経験したオンラインスキルを活かし、新たな活動しなくてはと考えています。また、毎年の課題である会員の増加も図っていきたいと思います。

本年も皆様のご協力とご支援に感謝しながら活動を続けてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

## 広報委員会



広報委員長  
オリエンタル白石(株) 福田 顕議

JSCA九州支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。毎年恒例ですが、広報委員会最初の仕事は、このメール版新春号の編集と配信です。役員の皆様、地区会幹事の皆様、お忙しいところ新年早々の執筆ありがとうございました。充実した広報のため、今後も皆様に執筆等ご協力頂くこともあるかと思いますが、その際は何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年はJSCA構造デザイン発表会が沖縄で行われる予定でしたが、コロナ渦のため延期となりました。また、様々な講習会や総会その他イベントが中止となり、JSCA九州メール版での会報が出せず申し訳ございませんでした。その中でも鉄筋コンクリート部会のZoomによる見学会や、青年部会による講習会は多数の会員の皆様が参加され、質疑応答等活発に意見交換がなされました。このようなイベントは、会員相互の交流や技術取得にとって欠かせないものと感じました。各部会や地区会でイベントや地区会等を行う際には、ホームページ<http://jscakyushu.jp/>でご案内し、会員の皆様へ広くアナウンスさせていただきます。広報という名の通り、2021年もJSCA九州支部の魅力会員その他一般の方々に、広くわかりやすくお知らせしていく所存です。本年もどうぞよろしくお願い致します。

## 事務局



事務局長  
(株)JE 構造設計 恵藤 宏光

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は2月の初頭から世界各地で広がりを見せた新型コロナウイルス感染の影響により、私たちにとっても総会・役員会はもとより各講演会や懇親会といった対面を伴う行事がことごとく見合わせとなる特殊な一年となりました。事務局としての活動も例年とは様相を異にし、通常行っていた業務の大半が出来なかった一方で、書面決議やオンライン（Web）役員会といった新たな（というか、今まで余り採用されることの少なかった）環境を導入する作業に追われた気がいたします。不慣れな点が多々あり、皆様には色々とお迷惑をおかけしたのではないかと反省しております。

そんな状況もようやく一回りして本年を迎え、新たに2021年の活動を進めて行くわけですが、去年一年で培ったコロナ禍への対処法（免疫）を十分に活用していき、今まで以上の力強さを備えた活動が出来る様に尽力したいと考えております。昨年から開催が延期されたデザイン発表会 in 沖縄や福岡建築倶楽部ゴルフコンペといった行事も、去年一年の経験から何か今までにない形、進化した形での開催が生み出されるのではないかと思いますし、この免疫を得て一回り大きく成長した活動を推進して行ければと気持ちを新たにしているところです。皆様へのご協力をお願いすることも多くなるかと思いますが、何卒お願い申し上げます。

加えて、例年通り今年も会員の皆様への円滑な情報伝達を行うべく事務局として活動していきたいと思います。会員外の皆様も活動をご覧になられた方々には、新規会員として入会頂ければ幸いです。今後とも、会員・支部幹事・地区幹事の皆様・賛助会員の皆様よりお願いいたします。



## 地区会報告



北九州地区会幹事

(株)松尾設計 牛尾 忠信

新年、明けましておめでとうございます。

北九州地区会の幹事として5年を過ぎようとしています。昨年は、コロナの中、思うようにイベントが開催できず、地区会の皆様には申し訳なく思っています。例年、開催している北九州市及び市内建築系大学との建築構造系講演会が実施できませんでした。非常に残念です。令和3年は形を変えてぜひとも開催したいと思います。

この一年を振り返るとJSCA九州の総会、2回の役員会もWEBでの参加でした。それなりに参加はできますが、直接お会いしてご挨拶するのは違って少し躊躇してしまいます。その他JSCA、建築士会、建築学会等の配信による見学会、講演会、講習会に複数参加しました。このような参加の方法も情報収集が目的であれば、交通費が掛からない、移動の時間が節約できる、形態によっては自分の空き時間に聴講できるなど、プラスの面が解りました。

プライベートでは、建築士会の一員として七月豪雨の被災地へ被災者再建支援業務で参加しました。被災者の再建に向けて補助支援制度、再建に向けた融資、床上浸水などした家屋の応急処置などを行いました。自分では分からない事が多くあり勉強になりました。

2021年、北九州地区会として何ができるのか、真剣に考えたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



佐賀地区会幹事

(有)金子建築設計事務所 金子智洋

新年あけましておめでとうございます。

佐賀地区幹事3年目となりました。昨年は新型コロナウイルスの影響で世の中が全く変わってしまいました。いつ収束するかも全く見通せない状況です。またこれまでの働き方や生活習慣を一変させ人と人とのつながりやコミュニケーションの大切さを浮き彫りにしました。

佐賀地区会においても総会はメールによる書面報告にて行うこととなりましたし、県外での工場視察を予定していましたが収束後に延期としました。そのコロナ禍ではありましたが、県内において有明粘土層における地盤置換工法の見学会や、佐賀県鉄鋼工業会青年部との意見交換会(web形式)を行うことができたこと、関係者及び参加者の皆様に感謝申し上げます。

日本でも春にはワクチン接種が開始され、収束への道筋が徐々にたつてくることを願うばかりです。ウィズコロナ時代ではありますが、その中でできるwebを活用した勉強会等を行い、技術の向上を図り本年も活動して参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



長崎地区会幹事

(有)百田建築設計事務所 平川 雅敏

新年あけましておめでとうございます。

昨年春より、長崎地区幹事を引継ぎましたが、ほとんどの行事が行えず、毎年開催し第7回目となる予定だった長崎県鉄構工業会との合同懇談会も中止になり、例会も1回開催できた程度でした。

今年も、厳しい状況は続くと思いますが、このような状況でもできることを、地区会会員で話し合い一丸となって、活動していきたいと思います。

最後に九州支部会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



熊本地区会幹事

(有)かいしん設計室 甲斐 信親

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、全国的にはコロナ感染症が猛威を振るい大変な1年でした。支部総会、役員会がリモートとなり、また講習会等軒並み中止となり地区での活動が何も出来ない状況でした。そして、JSCAの「構造デザイン発表会 in 沖縄」も今年に延期となりました。今年こそは開催されることを願っています。開催されたらぜひ熊本地区の仲間と一緒に参加できればと考えています。また熊本では7月に県南部を襲った豪雨による災害が追い打ちをかけました。最近なぜこれほど災害が多いのか、災害と共存ではありませんが、建築構造設計者としてそれにどのように備え対処すればいいのか改めて考えさせられています。

今年は何が出来るかということばかり考えていますが、コロナ感染症が納まらないと何もできないでしょう。人間はたびたびこのような困難な時期を迎えているようです。そんな中でも何が出来るかを考えなくてはと思います。どのような形でもいいので、若い構造設計者のための講習会か勉強会等の活動が、特に木質構造関係について出来ないかと考えています。この大変な時期をどう乗り切るかについてはやはり若い人の力が必要です。もっともっと若い構造設計者が増えることを願っています。がんばれ熊本！がんばれ九州！



大分地区会幹事

(有)ケイシン設計 山本 伸二

皆さま、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

**今年は明るく希望もてる年を過ごしたいです。** そのような中で JSCA の活動が活発にできることを念願し 2021 年は望みたいです。昨年から終息が見えない新型コロナウイルスの感染力やその報道にすっかり気落ちしての一年でした。ある国では 30 秒に一人がなくなるなどショッキングなことも報道されていました。コロナの終息の見通しは遠いようですが早々のワクチン開発により接種が世界的に開始されはじめています。

明るい兆候に期待し、皆様と対面しながら協会の活動ができたらと年の始まりを過ごしています。昨年の大分地区会報告も取り上げ述べたいのですが希望の新年を思い割愛させていただきます。今年に期待を膨らませて。

最後に皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



鹿児島地区会幹事

(有) リソー・エンジニアーズ 白坂 哲也

謹んで新春をお祝い申し上げます。

JSCA の皆様、どのようなお正月をお過ごしだったでしょうか。

昔、正月に祖母から「あんた幾つになった」と問われ、誕生日でもないのに歳を問われる意味が理解できませんでした。母曰く「お義母さん、今は誕生日が来て歳を数えるんですよ。お正月じゃないですよ。」と。「そうか。数え歳ってそういうことか。お正月に年を取るのか。お年玉もお祝いなのか。」合点がいきました。

さて、今年も歳を取りました、確実に。それに伴い自分は成長しているか？と問います。答えは否。知識未吸収、経験不足の一方、技術の進歩は日進月歩。取り残される虞を抱きながら日々仕事に追われています。しかし、建築は、決して一人で作るものではなく、共同作業の成果です。そう考えれば、一人で力む必要も無いのでしょうか。JSCA も構造技術者集団と言うチームと考えれば良いではないのでしょうか。補完し合えば良いのでしょうか。このチームの力を借りて、今年もより良い仕事をし、良い建築を生み出しましょう。

本年もどうぞご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



宮崎地区会幹事

WADA建築研究所 和田 哲夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナに始まりコロナで終わるかなと思っていましたが、先の見えない状況になり宮崎地区会の活動（講習会、見学会、セミナー等）も出来ず1年が過ぎました。その中で、宮崎県が主催している木造塾に参加することが出来ました（宮崎地区会員も数名参加）。内容としては、中大規模木造建築の構造的特徴や解析方法、構造のみならず防耐火、音環境、振動などを著名設計者が経験談を交えながら行うものです。木造塾に参加して、RC造、S造はある程度の知識はありますが、特殊架構の木造建築については経験等が無く、参考書等を購入し勉強した程度でしたので大変勉強になりました。同時に奥が深く歴史もあり一番身近な木造建築物に携わって来なかった事を後悔しています。その反省を踏まえ今年は、地区会で木造の勉強会を多く行いたいと思っております。宮崎の構造設計者も高齢化リタイヤ等がありますが若手の会員も若干増えましたので会話を重ね元気よく技術の向上以外にも魅力ある地区会を目指したいと思っております。



沖縄地区会幹事

株式会社 ケイ・ツー設計 小波津 和也

明けましておめでとうございます。2021年が皆様にとって真に良い年となることを心より祈念しています。さて本来ならば、昨年予定していた「JSCA構造デザイン発表会 in 沖縄」と「JSCA若手技術者育成事業における坂口裕美講演会&パネルディスカッション」についての報告予定でしたが、残念なことに新型コロナウイルス感染症による影響及び感染拡大防止対策により延期となりました。今年の予定として引き続き「JSCA構造デザイン発表会 in 沖縄」は9月22日（水曜日）場所は沖縄コンベンションセンター会議棟にて開催としています。この発表会における運営に係る各協議・決定事項及び役割分担についてですが、昨年1月からリモート会議にて進めてきました。そのことで気づいたことを何点か挙げます。

- ①ZOOM、TEAMS は、接続及び使用方法が不安でしたが、意外に簡単に接続し会議できたこと。
- ②東京、福岡、沖縄と遠く離れた場所でしたが、通常の会議と遜色なく議案の進行ができたこと。
- ③旅費・交通費・移動時間が掛からないこと、職場での通常業務への負担が掛からないこと。

委員会・会議開催はリモート開催が今後は増えることと思われることで、本土への会議出席回数と移動負担が減ることについては歓迎する一面でもありました。また、昨年9月に開催された「最新免震・制振技術を用いた超高層建物の設計」WEB講習会・見学会ですが、このようなリモート講習会を行っていただければ沖縄にいながら本土での講習会をリモートで受けられることも喜ばしく期待するところであります。リモート会議ができることから、近い将来は沖縄本島と離島間での構造設計業務のやり取りにも使用することが今後は期待したいところです。